

一年をふり返って・学校評価結果から

校長 松本 浩

南校舎玄関前の地蔵一本桜のつぼみも開花を始め、いよいよ6年生39名が、新たな世界へと旅立つときがやって来ました。3月23日の卒業式では、晴れの門出を心から祝福したいと思います。

さて、本校では教育目標を“みんなが「学校大好き」といえる学校に～やる気あふれる元気な日野っ子～”と定め、6年が経とうとしています。本年度の締めくくりにあたり、保護者・児童・教職員の学校評価アンケート結果をもとに、本校教職員が分析し自己評価したものを学校評議員等の学校関係者で考察、ふり返りを行いました。その概要を報告させていただきます。

（裏面のアンケート結果を参照ください。また、グラフもホームページにも掲載します。）

- 1 学習への意欲**については、「毎日の授業がよくわかり、楽しく学習していますか」の質問に対し、児童、保護者とも「できている」「だいたいできている」を合わせて、90%に近い割合になっています。コロナ禍により長く続いた臨時休業の影響もうかがえ、昨年度に比べ少し下がっています。来校された方から、本校児童の学習意欲や学習への参加態度等について高い評価をいただきました。今後も本校の特色である「話し合い活動」を大切にしながら、コロナ対応をふまえつつ、ICT活用を充実し、児童の学習実態に合わせた様々な形式の授業が経験できるよう取り組んでいきます。また、日常の教科学習においても、補充的学習の時間をとり、基礎基本を大切に授業に取り組んでいきます。
- 2 基本的な生活習慣**については、臨時休業期間中、夏休み、冬休みなど長期休業明けの「日野っ子パワーアッププラン」も5年目を迎え、保護者の皆様のご理解も進んでいます。規則正しい生活を意識する児童・保護者が昨年度とほぼ同じ割合となっています。しかしながら、あまり意識できていない児童もあり、病気以外の理由での欠席者が昨年度に比べ、少し出てきており、個々の状況に応じた働きかけを工夫していきます。
- 3 道徳心や人権意識**については、すべての学級で友だちのがんばりを認め合う時間をとる活動も5年目になり、定着してきています。また、各クラスで友だちへの「言葉のかけ方」について具体的に意識できるよう学年に応じて工夫しています。
- 4 防災教育**については、常に本番を想定して計画、実施しています。その場の状況に合わせた避難行動について学びました。今後も避難行動の基本を学んだ上で、適切な避難行動がとれる取組を進めていきます。
- 5 総合的な学習の時間**については、食育、環境教育、福祉教育、国際理解教育などの課題を、体験を通して学んでいます。肯定的な回答が保護者98%、児童92%と高く、多くの地域の方やゲストティーチャーの協力の賜物と感謝しています。
- 6 生活・生徒指導**については、「安心して楽しく活動できる場所」とであると保護者96%、児童89%と高い評価が出ています。しかしながら、不十分と思う児童もあることや「問題行動の防止と早期発見に関する取組」について、90%の肯定的回答をいただいておりますが、十分ではないと受け止め、日ごろの児童理解をさらに深め、早期発見、早期対応に努めます。
- 7 特別支援教育(学級)**については、96%の児童が理解をして生活をしていると答えています。姫路聴覚特別支援学校との交流活動や各学級での日常的な交流がよかったと考えます。今後も子どもたち一人一人の個性が尊重され、だれもが大切にされる教育を推進します。
- 8 開かれた学校づくり**については、98%の保護者から「できている」「だいたいできている」の高い評価をいただいております。ホームページや学校だよりについて個人情報に配慮しつつ、今後も公開、配布をしていきます。
- 9 本校の学校目標**である「学校は好きですか」という質問には肯定的な回答が多くありました。今後も、「学校大好き」といえるだけでなく、教育活動の充実を図り「学校が楽しい」といえる学校づくりに努めていきます。

まとめとして

保護者や地域の方から「コロナ禍の中、行事を工夫し実施してもらって感謝しました」「楽しく学んでいます」「子どもたちと授業でふれあえて楽しかった（地域の方々）」などのうれしい声を聞くと大変励みになります。

また、読み聞かせ、農業体験、家庭科授業サポートなど地域の方々からのご協力とつながりに支えられた学校であると日々実感しています。いただきました多くの貴重なご意見・ご提案を具体的な形として表し、子どもたちがより成長できるよう職員一同力をあわせて取り組んでまいります。次年度も、保護者・地域の方々のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。